

# 取扱説明書 Housetec

システムバスルーム 集合住宅向け ユニッテリア  
M・F・NJ・NW・B シリーズ YTA シリーズ

## 安全上のご注意

### 必ずお守りください

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

### 警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。

### 注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意	味
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。	
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。	

### 警告

- 風呂フタに乗ったり、体重をかけたりしない  
●おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。
- お酒を飲んで入浴しない  
●足をすべらせころぶおそれがあります。
- 幼児や身体の不自由な方だけ入浴させない  
●おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。
- 排水栓は確実に閉める  
●空だきとなり、火災の原因になるおそれがあります。

- 故障、破損したら使用しない  
●事故や故障の原因になることがあります。
- 照明器具や換気扇の手入れは電源(スイッチ)を切ってから行う  
●感電やけがをするおそれがあります。
- 組み込まれる機器・水栓器具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る  
●使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
- 分解、修理、改造をしない  
●感電や故障の原因になることがあります。

- 照明器具にタオルなどを掛けない  
●過熱して、火災の原因になるおそれがあります。
- 照明器具のカバー(グローブ)を外したり、破損したまま使わない  
●感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。
- 浴槽排水と洗面排水を同時に行わない  
●排水が洗場にあふれ出ることがあります。
- 陶器(洗面器、便器)に硬いものや先のとがったものをぶつけない  
●破損してけがをするおそれがあります。
- 下部点検口フタにのらない  
●破損してけがをするおそれがあります。

### 注意

- 壁パネルに無理な力を加えたり、硬いものをぶついたり、こすったりしない  
●破損してけがをしたり、照明器具の破損や、周囲のコーキングが切れ、水漏れの原因になります。
- ドアのハンドルや引き手にぶら下がったり、無理な力をかけない  
●ドアが外れ、けがをするおそれがあります。
- 排水口にシンナーなどの溶剤を流さない  
●排水部分が破損して、水漏れの原因になることがあります。
- 排水栓をつないでいるくさりの浴槽取り付け部を無理にまわさない  
●取り付け部がゆるむと水漏れのおそれがあります。
- 床が石けんや湯あかで濡れているときは、洗い流す  
●こぼれてけがをするおそれがあります。

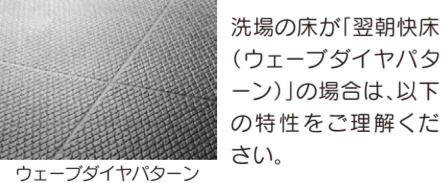
- 固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない  
●金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。
- 風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用する  
●風呂フタが外れたりして、けが・やけどをするおそれがあります。
- 設置して8~10年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換を相談する  
●設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。  
\*発煙条件は室温25℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯、周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- ドアのパッキングが切れたり、外れたまま使わない  
●水漏れのおそれがあります。
- 器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは必ずお買い上げの販売店などに相談する  
●誤った取り付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因になることがあります。

- 浴槽に飛び降りる等、無理な力をかけない  
●ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。
- 浴槽上表面、カウンター、鏡リバーに乗ったり、ぶら下がったりしない  
●破損や転倒によるけがのおそれがあります。
- 浴槽から勢い良くお湯をあふれさせない  
●バスルーム外に水があふれたり、洗いのフタ(排水フタ)が外れて転倒するおそれがあります。
- ドアに勢い良く水をかけない  
●水漏れのおそれがあります。
- バスルーム(天井、下部点検口)のフタは、設備点検時以外絶対にあけない  
●フタが外れ、けがをしたり水が漏れるおそれがあります。
- トイレ用洗剤は、便器(陶器部分)以外は使わない  
●他の部分に使用すると、変色、劣化など不具合を生じるおそれがあります。
- 洗面器に手をついて無理な力をかけない  
●洗面器ががたついたり、ずれたり、破損してけがをするおそれがあります。

## 使用方法と使用上のご注意

### 「翌朝快床」について

(ユニッテリア・YTAシリーズのみ)



日常のご使用では  
●風呂いすや洗面器が床に置いてあると、その設置部分は排水の障害となつて水が残る、他の部分に比べて乾きが遅くなります。

初めてご使用になる場合  
●床表面に製造時の油分が付着して「翌朝快床」が持つ本来の性能を発揮できない場合があります。この油分は入浴しているとき次第に洗い流されますが、初めてご使用になるときに浴室用の中性洗剤で床を洗っていただくこと、より早く「翌朝快床」の性能が発揮されます。

### 目地について

(防水性能をたいたい目地材)

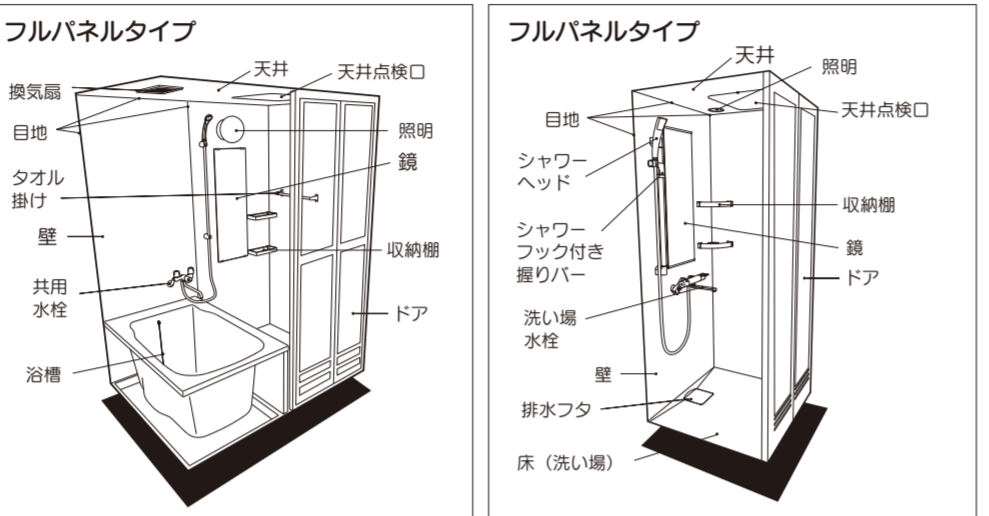
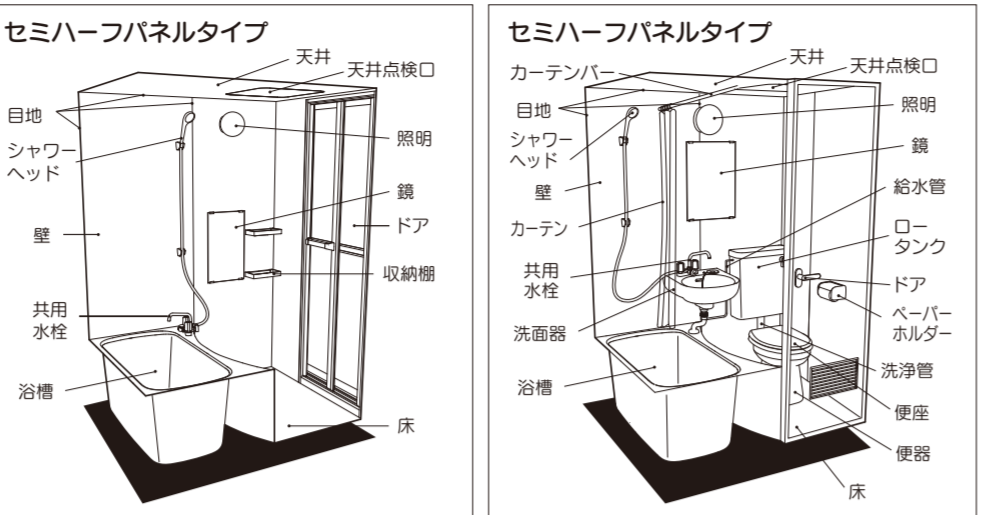
- 目地材は水漏れを防ぐために大変重要なものです。傷めたり、取りはずしたりしないでください。
- 入浴後、目地にかびなどが生えないよう換気がしてください。

### 照明について

- 過熱して、火災の原因になるおそれがあります。
- 照明には直接水やお湯をかけないでください。
- 照明には直接水やお湯をかけないでください。故障の原因となります。

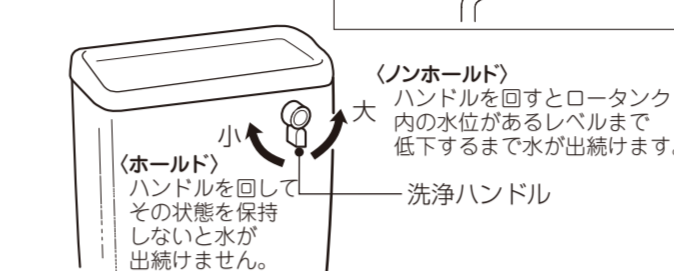
## 各部の名称

●現品は図と異なる場合がありますので、ご了承ください。



## ロータンクについて

- ロータンクは便器の汚物を流すために必要な水をためておく物です。ハンドルを引くと水が流れ自動的に水が供給されます。
- ロータンクの中へ異物(ピン、缶等)を入れないでください。流れが悪くなります。



## 水が止まらない場合

- オーバーフロー管から流れている場合はタンク内の水が所定の水量より異常に多い場合です。この場合にはフロート(白い浮玉)がタンクの壁面に当たって作動していないため、フロートを壁面まで押しつけてください。(水が供給されていない場合も同じです。)
- 排水金具から流れている場合はフラッパーが外れた場合とフラッパーと排水金具との間にゴミ等がらまってフラッパーと金具が密着していない場合です。フラッパーの支点ダボを差込むかフラッパーを上げてこみを取り除いてください。

## 水がでない場合

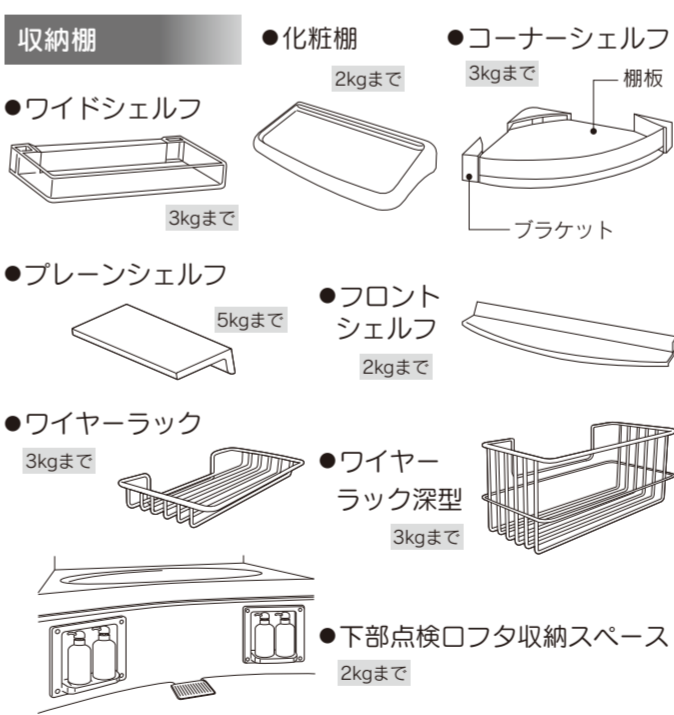
- ハンドルを引いても水が出ない場合はレバーと鉤が外れている場合です。上部フタを外しフラッパーの所で2環位たせるむように差込んでください。

## その他使用上の注意

- コンセントは水嫌い  
●コンセントに水をかけないでください。漏電して使用できなくなります。
- シャワーは浴槽内で(便器付のタイプ)  
●シャワーは浴槽内でカーテンをしめてご使用ください。カーテンをあけてシャワーを使用するとカウンター、便器などが濡れて使いづらくなったり、室内へお湯が飛散することがあります。

## 便座を乱暴に扱わないで 便器に流してはいけないもの

- 便座、フタの開閉は乱暴に行わないでください。
- 新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど、詰まりやすいものは流さないでください。
- 鉛筆、くし、歯ブラシなどを便器の中へ落としますと内部でつまります。誤って落としたときは水を流す前に必ず拾い出してください。
- 水に溶け難いトイレ脱脂ペーパーは、使用しないでください。



- 各棚(1段ごと)に 表示した以上のものを置かないでください。変形や破損の原因になります。
- 棚にぶら下がったり、強く引っぱらないでください。破損したり、転倒などで、けがをするおそれがあります。
- 下部点検口フタにのらないでください。破損したり、転倒などで、けがをするおそれがあります。
- さびやすいものを棚に放置しないでください。もらいたびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。
- 棚にフックなどをかけないでください。変形や破損の原因になります。

## 換気について

- 換気は3時間を目安に  
●換気は3時間を目安に  
●換気は3時間を目安に
- 風呂フタはこまめに置いて  
●風呂フタはこまめに置いて  
●風呂フタはこまめに置いて
- 入浴中の換気は避けて  
●入浴中の換気は避けて  
●入浴中の換気は避けて
- 換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガラスから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じる場合があります。特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご注意ください。

## 排水について

- 洗い場の排水口には、臭気止め機構(トラップ)がついておりますので次のことにご注意ください。
- 目皿、ヘアキャッチャーを外したまま使用しない  
●目皿を取りはずした状態でのご使用はお避けください。毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。
- トラップ封水切れの注意  
●長時間留守にする場合、蒸発等により封水切れで悪臭が発生する場合がありますのでご注意ください。万一悪臭が発生した場合は、換気をし、排水トラップに水を流してください。

## 表面保護について

- 床・浴槽・カウンターを傷つけないために  
●かたいものでこすったり、重くてかたいものを床に落とさないでください。
- 壁・天井・ドア面を傷つけないために  
●かたいものでこすったり、たたいたりしますと傷つき破損するおそれがありますのでご注意ください。

## ドアについて

- ドアの開閉は静かに  
●ドアの急激な開閉はしないでください。(ドアは静かに開閉してください。)手や足をはさまれて、けがをするおそれがあります。

## ドアロックについて

- 浴室に入り錠をかける場合  
●レバーハンドルの下のつまみ(サムターン)を90°回してください。

## 錠をかけた浴室からでる場合

- レバーハンドルの下のつまみ(サムターン)をもともとしてください。レバーハンドルを下げますと、ロックは解除されます。

## 錠をかけてある浴室に入る場合

- つまみの溝にコイン等を押して回しますと、ロックが解除されドアを開くことができます。

## 浴槽と風呂フタについて

- 浴槽に湯を入れてお湯を流す場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。
- 風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用してください。風呂フタが外れたり、けが・やけどをするおそれがあります。
- 風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用してください。風呂フタが外れたり、けが・やけどをするおそれがあります。

### 換気について

換気は3時間を目安に

風呂フタはこまめに置いて

入浴中の換気は避けて

換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガラスから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じる場合があります。特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご注意ください。

## タオル掛け・ランドリーパイプなどについて

- ランドリーパイプに10kg以上のものを掛けしないでください。パイプが外れるおそれがあります。
- タオル掛け、カーテン、カーテンバー、握りバー、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、けがをするおそれがあります。

## 鏡について

- 鏡に物をぶつかけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石けん水を含んだタオルで鏡の表面をふいてご使用ください。

